

# 2019年度 第2四半期 決算補足資料

2019年11月7日

# 2019年度 第2四半期決算のポイント

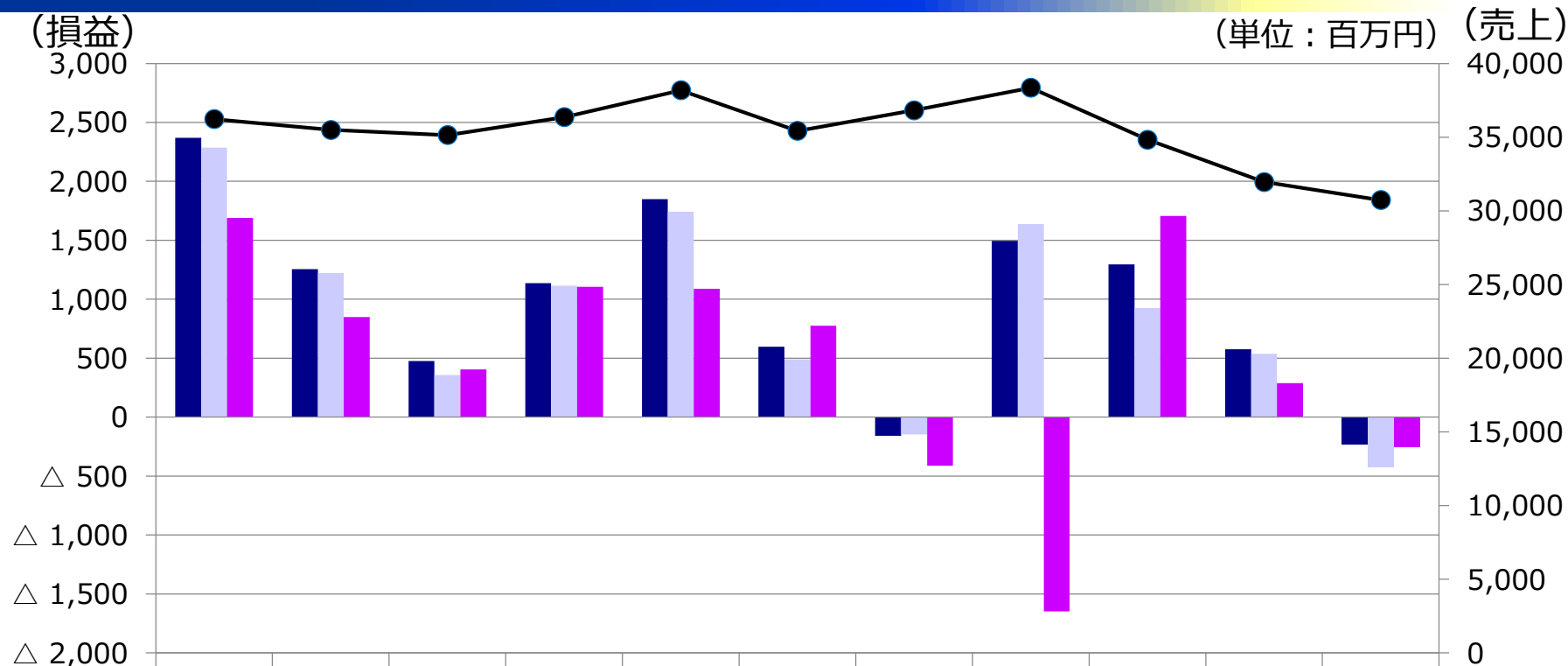
(単位：百万円)

	2018年度 第2四半期 (利益率)		2019年度 第2四半期 (利益率)		前期比増減	
	売上高	利益率	売上高	利益率	増減額	増減率
売上高	72,250	－	62,680	－	△9,570	△13.2%
営業利益	438	(0.6%)	341	(0.5%)	△96	△22.1%
経常利益	343	(0.5%)	110	(0.2%)	△232	△67.7%
当期純利益	363	(0.5%)	33	(0.1%)	△329	△90.7%
EPS (円)	14.02		1.31			

## 《全体感》

- 売上：国内外の自動車販売の減少及びアルミ地金市況の下落等により減収  
また、北米における会計基準変更影響により約9億円減
- 営業利益、経常利益：自動車販売量の減少等により減益
- 当期純利益：前年度は投資有価証券売却分の特別利益を計上
- EPS：当期純利益の減少により、EPSは1.31円/株

# 連結決算概要（四半期推移）



	16年度 4Q	17年度 1Q	17年度 2Q	17年度 3Q	17年度 4Q	18年度 1Q	18年度 ※ 2Q	18年度 ※ 3Q	18年度 4Q	19年度 1Q	19年度 2Q
■ 営業損益	2,370	1,255	477	1,136	1,850	596	△ 158	1,494	1,296	576	△ 235
■ 経常損益	2,286	1,222	356	1,115	1,743	490	△ 147	1,638	924	537	△ 427
■ 当期純損益	1,690	850	405	1,105	1,090	776	△ 413	△ 1,648	1,706	289	△ 256
● 売上高	36,228	35,494	35,136	36,359	38,178	35,429	36,821	38,351	34,827	31,953	30,727

※ 18年度2Qは一時的な減価償却増（645）、3Qは米国工場の減損（3,015）計上

# ダイカスト事業

(単位：百万円)

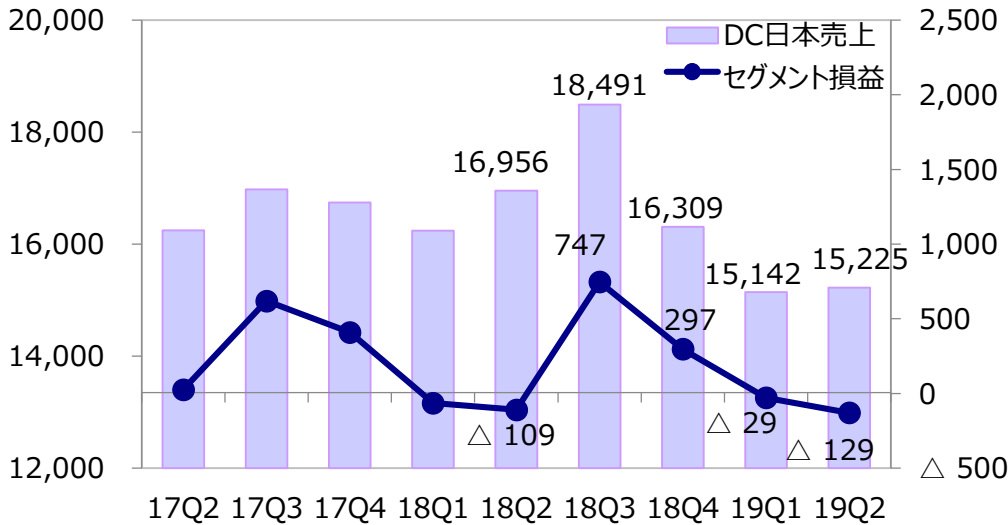
		2018年度 第2四半期 (利益率)		2019年度 第2四半期 (利益率)		前期比増減	
日本	売上高	33,198	—	30,367	—	△2,830	△8.5%
	セグメント損益	△173	—	△158	—	14	—
北米	売上高	20,514	—	16,982	—	△3,531	△17.2%
	セグメント損益	△198	—	478	(2.8%)	676	—
アジア	売上高	15,143	—	11,745	—	△3,398	△22.4%
	セグメント損益	748	(4.9%)	△320	—	△1,068	—

- ✓ ダイカストセグメントの海外売上比率  
2018年度2Q：51.8% ⇒ 2019年度2Q：48.6%

※ セグメント別の増減要因については、次ページ以降で説明

# ダイカスト日本

ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



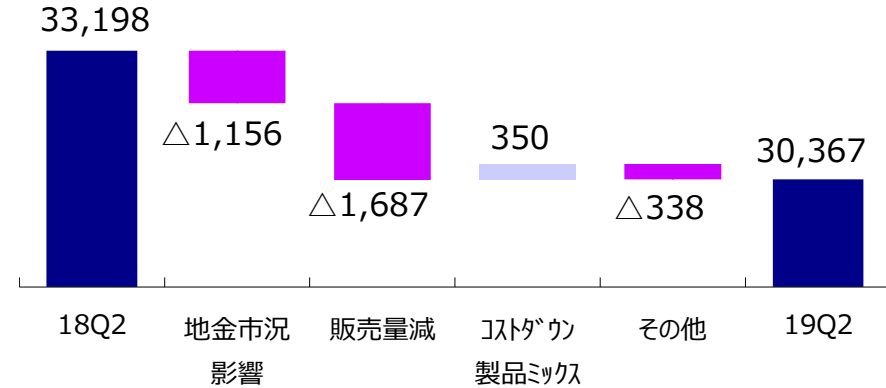
## 売上：28.3億円減（前期比8.5%減）

- 取引先の生産調整、自動車販売減の影響等により販売量が減少
- アルミ地金市況の変動影響等により減収

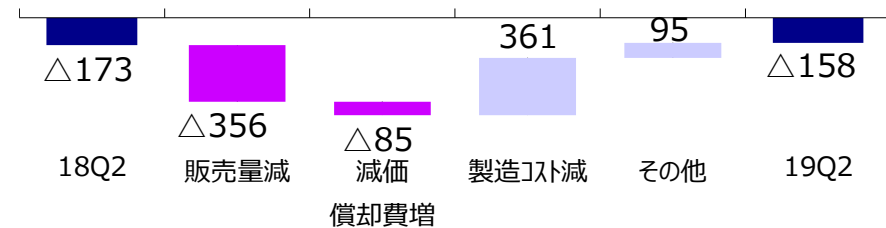
## セグメント損益：0.1億円増（前期比増）

- 販売量減少の中で、製造コストの削減、値引き圧縮等に努め前期並みの損益水準（損失）

売上高増減要因（単位：百万円）

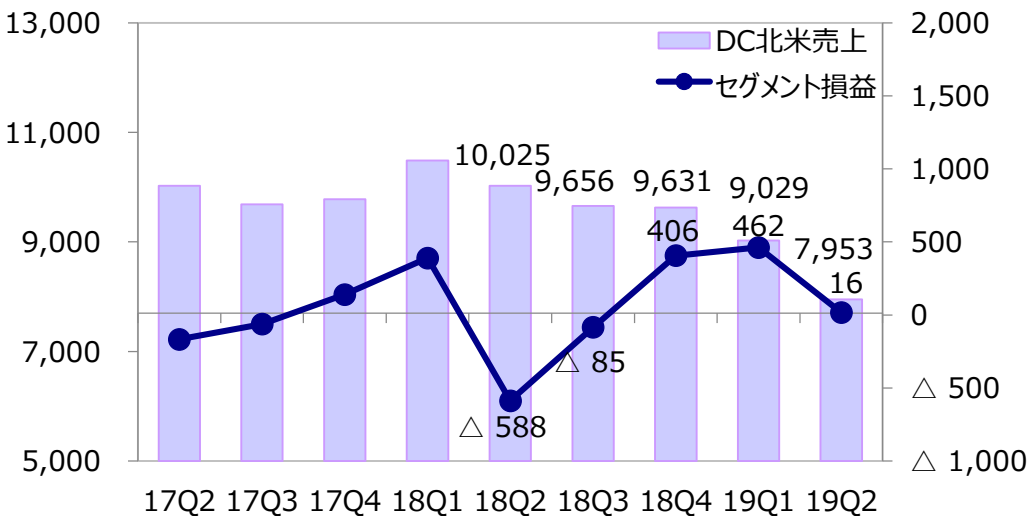


セグメント損益増減要因（単位：百万円）



# ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



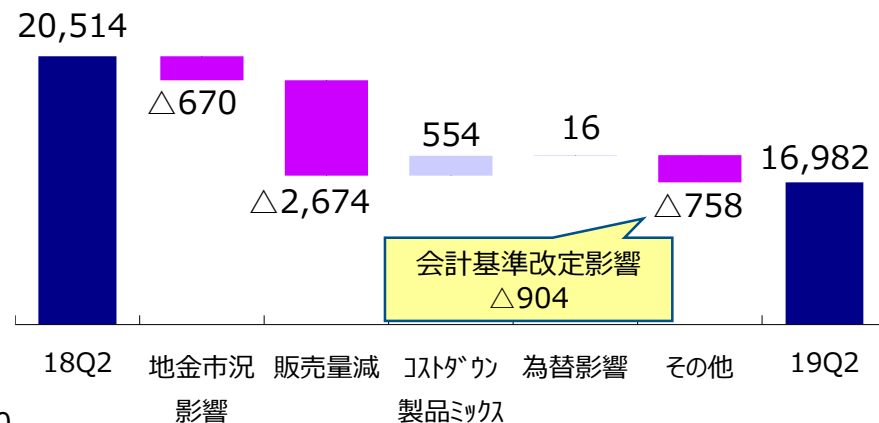
## 売上：35.3億円減（前期比17.2%減）

- 米国工場の小型トラック向け受注やメキシコでの新規部品量産本格化あるが、主要顧客の自動車メーカーの販売低迷の影響を受け減収

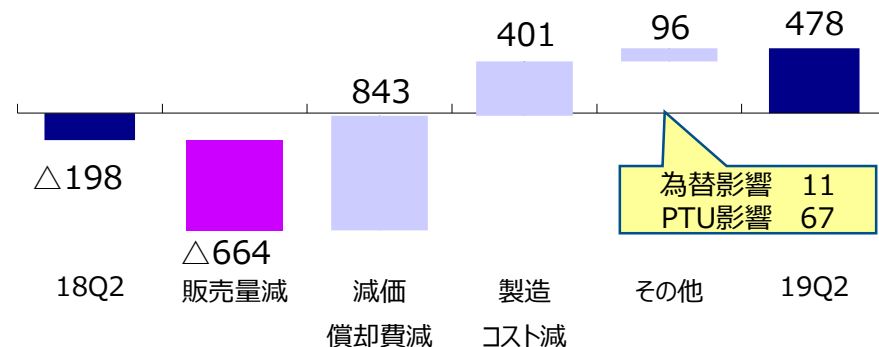
## セグメント損益：6.7億円増（前期比増）

- 販売減となるが、生産性の改善と減価償却費の減少等により増益

売上高増減要因（単位：百万円）



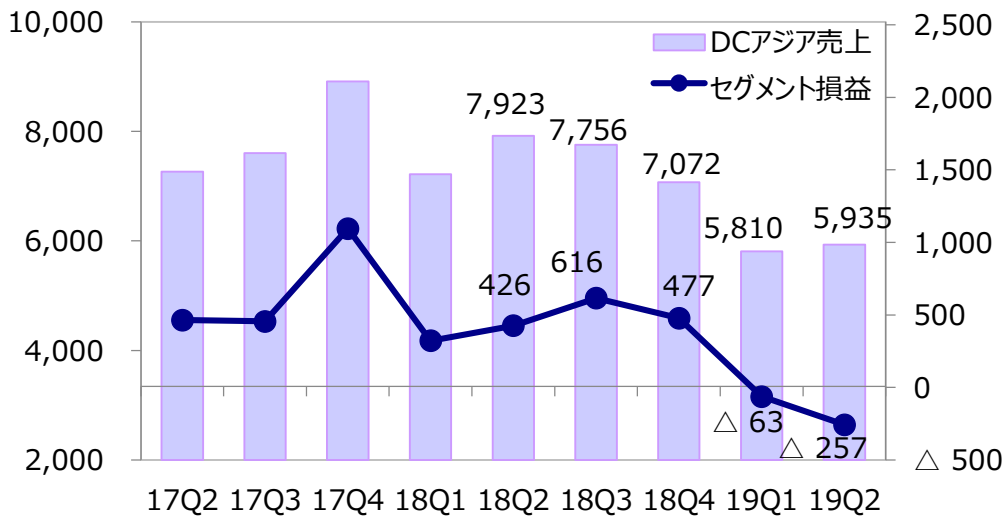
セグメント損益増減要因（単位：百万円）



決算期：アメリカ3月期、メキシコ12月期  
 レート（18Q2⇒19Q2）アメリカ 110.07⇒109.04 メキシコ 109.17⇒110.15

# ダイカストアジア

ダイカストアジア売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上：33.9億円減（前期比22.4%減）

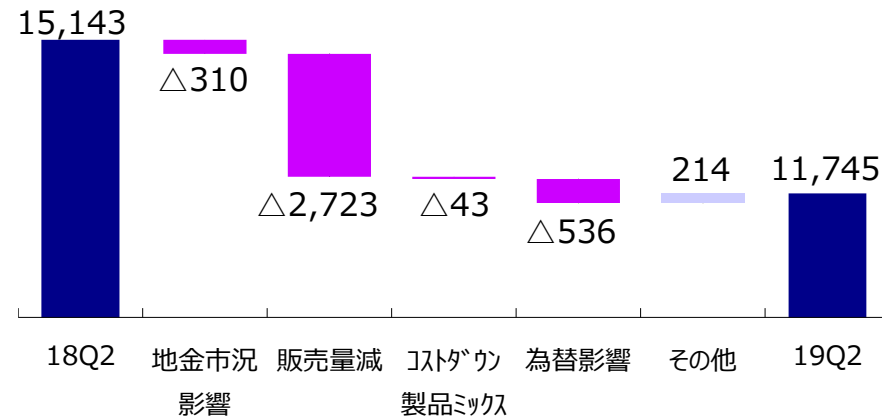
- 中国市場では、ローカルOEMの減速による販売量の落ち込みと為替等により減収
- インドも自動車販売減により販売量減少

セグメント損益：10.6億円減（前期比減）

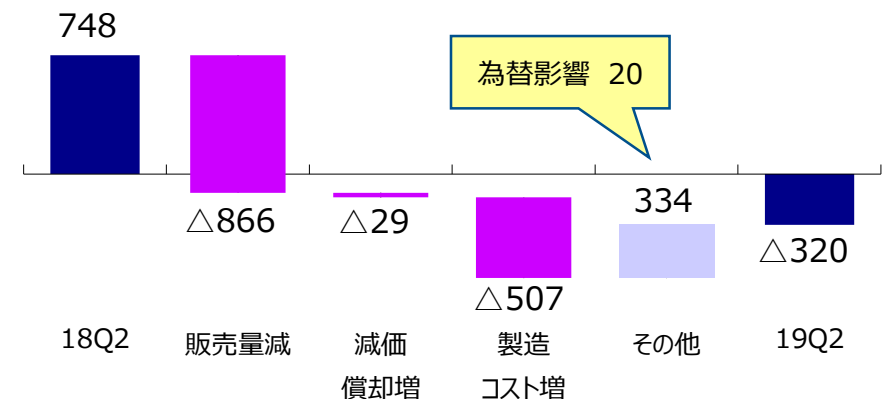
- 急激な販売量減少とともに、数量減にあわせたコスト削減に至らず損失計上

決算期：中国12月期、インド3月期  
レート（18Q2⇒19Q2） 人民元 17.05⇒16.23 インドルピー 1.61⇒1.56

売上高増減要因（単位：百万円）



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



# アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2018年度 第2四半期 (利益率)		2019年度 第2四半期 (利益率)		前期比増減	
アルミニウム 事業	売上高	2,290	—	2,067	—	△222	△9.7%
	セグメント損益	43	(1.9%)	107	(5.2%)	64	147.2%
完成品事業	売上高	1,104	—	1,517	—	413	37.4%
	セグメント損益	70	(6.3%)	113	(7.5%)	43	62.2%

## アルミニウム事業

- ▶ 売上：アルミ地金市況の変動等により販売単価が下がり減収
- ▶ セグメント損益：原材料の調達価格下落等により増益

## 完成品事業

- ▶ 売上：クリーンルーム物件やデータセンター向け物件の受注増により増収
- ▶ セグメント損益：売上の増加により増益





# Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

**【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】**  
**株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664**  
**E-mail: [ahresty\\_MP0\\_IR@ahresty.com](mailto:ahresty_MP0_IR@ahresty.com)**  
**URL: <https://www.ahresty.co.jp>**

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。